

サステナビリティ経営で 取り組む重要課題

サステナビリティ経営を推進するため、当社が取り組むべき重要課題（マテリアリティ）を特定しました。事業を通じてこれらの社会課題の解決やお客さまのニーズに応える取り組みを推進することで、企業価値の向上を図り、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

キューブシステムグループのサステナビリティ経営

社会生活が様変わりし、商品やサービスを提供する事業会社はDXに取り組み、ビジネス変革やプロセス変革を成し遂げようとしています。当社は、より高度なソフトウェア・エンジニアリング力を生かし、各事業会社のDXの取り組みをサポートするとともに、お客さまが直面する社会課題を事業機会として位置づけ、サステナビリティ経営を追求します。

サステナビリティ基本方針

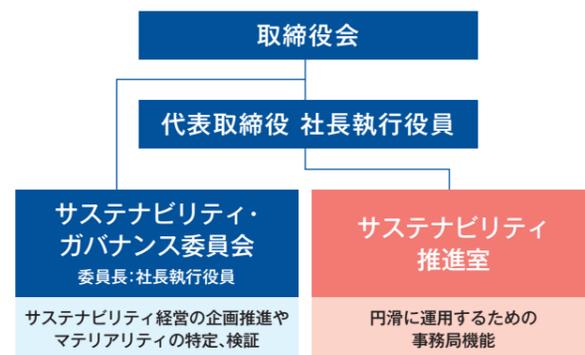
キューブシステムグループは、社会発展のために果たすべき義務や役割を理解し、社員一人ひとりが事業や地域貢献などの活動を通じて企業価値向上と社会課題解決の双方を実現する。

| | |
|--|---|
| <p>健全な企業経営の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全てのステークホルダーとの共感・共鳴・共創を通じ、実効性・透明性・信頼性の高い企業経営を実践する <p>コンプライアンスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会規範に則した誠実かつ公正で透明性の高い企業活動を遂行する <p>人権の尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人権に関わる国際規範を支持し、あらゆる企業活動において人権を尊重する <p>公正な取引の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自由で公正な競争のもと、適正な取引を通じて取引先との信頼関係を強化する | <p>持続可能なサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 顧客ビジネスの発展に貢献し、顧客価値の最大化を実現する ● 独自性・新規性・高付加価値を持ったサービスを提供する <p>働きがいのある職場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多様な社員が、心身の健康はもとより、やりがいを持って働き、社員一人ひとりの特性や能力を最大限発揮できる職場づくりと育成に努める <p>地域・社会への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 活気ある住みよいまちづくりと地域社会の発展に貢献する <p>環境保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業活動を通じて環境にやさしい経営を実践し、環境負荷の低減と持続可能な社会の実現に貢献する |
|--|---|

サステナビリティ推進体制

当社グループのサステナビリティ経営の活動推進に関して、社長執行役員を委員長とする「サステナビリティ・ガバナンス委員会」を中心にマネジメント体制を構築しています。

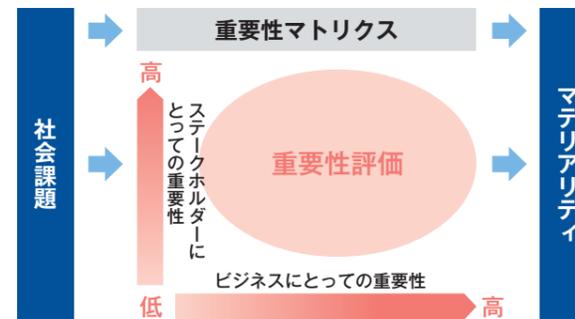
サステナビリティ推進体制図



サステナビリティ経営実践のための重要課題

当社グループが経営理念の実践や中長期経営計画の実現に向け、サステナビリティ経営を行う上で、重要となる課題を特定しました。

重要課題の分析



サステナビリティ・ガバナンス委員会での審議事項

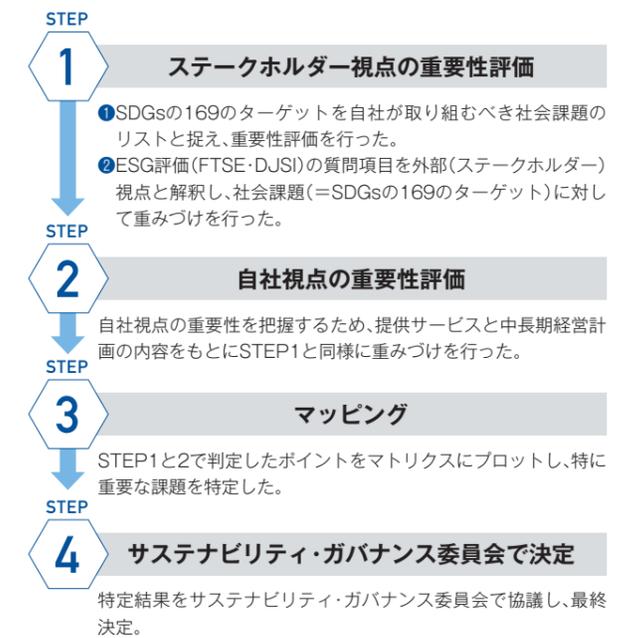
サステナビリティ方針のもと、健康経営への取り組みや、GHG排出削減に関わる取り組み状況の確認・監督等に加え、執行役員の執行状況の報告を受け、持続的な成長に向け、活動を推進しています。

SDGsへの貢献

SDGsが示す持続可能な社会の実現は、当社グループの経営理念の実践にもつながります。

当社グループは、お客さまだけでなく、お客さまそれぞれのステークホルダー、そして社会全体に対して、高付加価値のITサービスを創造・提供することでSDGsの達成に貢献していきます。

重要課題の特定プロセス



SDGsへの取り組み

当社が構築したAI自動発注支援システムにより、食品ロスの削減や環境負荷の軽減を実現しています。当社のソリューション提供が、お客さまの経営課題でもあるSDGs貢献につながっています。

サステナビリティ経営で取り組む重要課題

当社グループが取り組む重要課題(マテリアリティ)

重要課題

1

DX事業を通じた未来社会の創造

IT技術が急速に発展する中、それらの技術を安全に、かつ、斬新な発想で効果的に使いこなすことが求められていると認識しています。当社はDX技術を活用した新たなビジネスモデルの構築などを通じて、社会にさまざまなソリューションを提供し、便利で快適な社会の実現を目指します。

重要課題(マテリアリティ)

お客さまやビジネスパートナーと共創しながら、革新的な事業やサービスを通じて、顧客のビジネス発展に貢献する。

- スマイルシェアプロダクトの推進
- IP化・プロダクト化の推進
- コンサル協業ビジネス、DX・AI系ビジネスの推進

2024年度の主な取り組み

- H・CUBiC構想
人的資本経営を支援するサービス構想を発表。2025年度以降、システムの導入から運用支援をトータルサポートするソリューションとして提案予定
- AIビジネス
社内向けのChatGPTであるInCUBEatorの活用促進。業務ソリューションの研究開発。生産性向上のための自動化推進

重要課題

3

ソフトウェア・エンジニアリングによる顧客システムへの貢献

日々運用を続けるシステムにおいて、顧客の事業環境や社内環境の変化に応じた改善・効率化は欠かせません。当社では、ソフトウェア・エンジニアリングを通じて顧客システムに貢献するとともに、顧客の先にいる生活者や社会に対し、便利さや快適さを提供することを目指します。

重要課題(マテリアリティ)

ソフトウェア・エンジニアリングを通じて顧客システムの維持・改善・効率化に貢献する。

- 高生産性、高付加価値の徹底的追求

2024年度の主な取り組み

- 「新しいエンハンスモデルの構築」「収益性の改善施策による付加価値の向上」「当社担当範囲の拡大による生産性の向上」の3つの施策を推進
- 特に新しいエンハンスモデルでは、「マルチタスク化」「自動化」「海外活用」等を通じ、顧客システムの維持・改善、効率化に貢献
- ソフトウェア開発本部を主体とした開発拠点の充実に伴う、開発後のエンハンスも視野に入れた事業活動の実施

重要課題

2

クラウド技術を活用した安心・安全なシステムの提供

データサーバー等へのサイバー攻撃や頻発する自然災害など、社会の変化に呼応するように顕在化するリスクを背景に、システムの安全性がより強く求められるようになっていきます。当社は、マルチクラウド、マイクロサービスを軸としたシステムを提供することで、安心・安全な社会の実現を目指します。

重要課題(マテリアリティ)

より信頼性の高いビジネスを実践するためのプラットフォームを提供し、企業活動の質的向上に貢献する。

- マルチクラウド、マイクロサービスを軸とした新たなサービスの提供
- クラウドベンダーとの共創促進によるシステムの安全性の提供
- 製品コンサルと運用モデル変革による新たなサービスの提供

2024年度の主な取り組み

- 「マイクロサービス」を軸としたクラウドシステムの構築を通じて、お客さまのDXニーズ(重要な経営課題)に対応
- クラウドベンダーとの協業により、より質が高く安心して利用できるシステム構築を実践。各ベンダーに対応するDX技術者の育成も積極的に実施
- SaaS製品に対する技術調査、評価、当社の提供サービス適用に向けたシステムソリューションの開発

重要課題

4

価値創造基盤の強化・向上といった企業活動を通じた社会課題の解決

当社では、価値創造の基盤である「人材」「品質」「パートナー連携」について適切な取り組みを実践することで、少子高齢化や社会インフラの老朽化、気候変動などの社会課題解決に貢献します。

重要課題(マテリアリティ)

健全なサプライチェーンを通じ、高品質で安心・安全なサービスを提供するとともに、ダイバーシティ&インクルージョンの実践を通じ、多様なプロフェッショナルが活躍する人材の採用と育成を行い、透明性の高いガバナンスを実践する。

- パートナー企業との関係性強化を通じた品質・生産性の向上
- プロジェクト・開発工程の品質向上
- 持続的な人材開発と多様なキャリアフィールドでの成長支援
- 多様な人材が活躍する働き方改革の実践
- コーポレート・ガバナンス強化、コンプライアンス遵守、情報セキュリティ対応強化、気候変動対応

2024年度の主な取り組み

- パートナー企業との連携強化策の推進
- システム開発会議のレベルアップ、PMO機能の充実によるプロジェクト品質の向上
- 従業員向け株式報酬制度の導入
- 働く環境の整備、働く時間や内容の質の改善